

日口領土 交渉

戦後処理の不公正の 是正こそ主張すべき



▲NHKテレビから

NHK日曜討論で

共産党・志位委員長が発言

日本共産党の志位和夫委員長は12月18日、NHK日曜討論で“安倍外交”をめぐる野党代表と討論し、対ロシアでも、対アメリカでも、対中国でも、“安倍外交”の根本的な転換が求められていると主張しました。そのうち対ロシア外交について述べた部分の概要を紹介します。

日口首脳会談、「大変だらしのない外交」

志位氏は、15、16両日の日口首脳会談について、「大変だらしのない外交だった」と批判。プーチン大統領が、ソ連への「千島列島の引き渡し」を取り決めた米英ソ3国のヤルタ協定(1945年)を前面に立てて「領土問題は存在しない」と主張しているのに対し、安倍首相は「新しいアプローチ」の名で、領土問題を脇に置き、「まずは経済協力を行う。そうすればいずれは領土問題の解決に道が開ける」という態度だったと述べ、「相手が『領土問題は存在し

ない』と言っているもとの、領土問題を脇に置いては一步も前進しない。こういう外交姿勢はあらためるべきだ」と主張しました。

日本政府は一度も「正義」を主張してない

自民党の高村正彦副総裁は「お互いに理屈を言い合っても、相手が『わかりました』と納得することはない。“新しいアプローチ”でやる以外にない」と弁明しました。

これに対して志位氏は、「日口領土問題の解決のためには、『領土不拡大』という戦後処理の大原則に背く不公正を是正することを中心に据えなければならないが、戦後、日本政府はただの一度もこれを主張したことがない」と批判しました。その上で「この交渉態度をあらため、全千島の返還を堂々と求める交渉をやる。その過程のなかで初めて国後、択捉を取り戻す道も開ける」と述べ、「北海道の一部である歯舞、色丹は中間的な友好条約で速やかな返還を求める」ことを主張しました。 [発言全文はHPで→](#)



各紙が「領土進展なし」

「安倍外交」の根本的な転換を!!



衆院15区予定候補

よしだとしお

吉田としお



都議会議員(江東区選出)

あぜがみみわこ

あぜ上三和子



ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2016年12月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党